

広島県におけるシベリアジュリンの記録

上野 吉雄*・佐藤 亜紗・井上 珠紀

日本野鳥の会広島県支部

Record of Pallas's Reed Bunting *Emberiza pallasi* in Hiroshima Prefecture.

Yoshio UENO*・Asa SATO and Tamaki INOUE

報告

シベリアジュリン *Emberiza pallasi* はエニセイ川から東はチュコト半島までのシベリアで繁殖し、冬季は中国中南部、朝鮮半など越冬する。国内では数少ない冬鳥として渡来し、越冬する（山岸 1997）。広島県内では1989年に竹原市で写真撮影され、広島県産として記録されている（日本野鳥の会広島県支部 2002）。しかし、この写真を検討したところ、オオジュリン *E. schoeniclus* であることが判明し、シベリアジュリンが広島県産鳥類リストから除外された（日本野鳥の会広島県支部 2023）。

筆者らは2024年に広島県広島市佐伯区においてシベリアジュリンを鳥類標識調査により確認したので報告する。

広島県広島市佐伯区五日市港の八幡川河口のヨシ原において2024年1月4日13:00にシベリアジュリンを標識調査により確認した。測定値を以下に示す。

露出嘴峰長 10,5 mm 跗蹠長 18,5 mm 翼長 73 mm 尾長 66,3 mm

趾は暗褐色で跗蹠は橙褐色みがあり、小雨覆は灰色で、上嘴が黒色であることからシベリアジュリンと同定した（真木ほか 2014）。また、頭部の羽毛の下半分が黒色であることからオスと同定した。今回の確認により、シベリアジュリンが広島県産鳥類として正式に記録された。

引用文献

真木 広造・大西 敏一・五百澤 日丸（2014）決定版—日本の野鳥 650. 平凡社, 東京
日本野鳥の会広島県支部（2002）ひろしま野鳥図鑑 増補改訂版. 中国新聞社, 広島
日本野鳥の会広島県支部（2023）広島県鳥類目録 2023. 日本野鳥の会広島県支部, 広島
山岸 哲（1997）シベリアジュリン. 日本動物大百科—鳥類II, 146. 平凡社, 東京



A : シベリアジュリンの生息環境
B : シベリアジュリン

2024 年 1 月 29 日
2024 年 1 月 4 日